

# おみせ・イベント・相談会～ぜひおこしてください

	べらしお福祉住吉東店	コブン・カフェ	手づくりショップパンフ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメンが名物	おいしいコーヒーとサンドイッチがですか	オガリ作業所のお店。パンやパウンドケーキが売ります	阪和線我孫子町駅近く。安くておいしいランチをどうぞ
開店曜日	月～金	月～金	月～金	火・水・金ランチ 月・木はカフェ
開店時間	11:30～13:30	9:00～14:30	10:00～16:00	10:30～14:30
備考	5/3・4おやすみです			

	まちかど喫茶(るーぶ)	まちかど喫茶(よさみ野)	田辺大根堂	FamilyFriendlyらふら
こんなお店	"なごみ"でコーヒーとケーキはいかがですか?	なごみ玄関でとれたて野菜と香の乾物販売	子育て支援のグッズ販売しています	
日にち	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週木曜日	火～土
時間	10:00～15:00			10:00～16:00
備考	5/3はお休みです			

	ごはん倶楽部	なごみ食堂	るびなすみんなの食堂	みんなのマーケットるびなす
こんなお店	オガリで夕食作ってみんなで食べましょう	特養なごみ入居者さんといっしょにカレーを	高倉台のみんなの食堂。土曜朝集合	堺市南区高倉台の就労支援スーパーです
開催日・開店日	5/17(木)	5/15(火)	5/12(土)	月～土
時間	17:00～19:30	16:00～19:00	10:00～12:00	10:00～17:00
備考	参加費400円	参加費100円	こども100円おとな300円	5/4・5日はおやすみです

	社会福祉士による 介護・福祉相談会	きまぐれカフェ	オレンジカフェ ななしのどんべい	
場所	なごみ地域交流スペース		であい2階地域交流スペース	
開催日	5/10(木)	5/28(月)	5/12(土)	
時間	13:00～14:30	13:00～15:00	13:30～15:30	

## オガリ像沖縄への旅プロジェクト

旧市民交流センターすみよし北の屋外壁面を飾っていた「オガリ像」が、この5月にセンターの解体工事の一環で撤去される予定で、その後は作者の金城実さんの故郷沖縄に移設されることになりました。

「オガリ像」は「解放へのオガリ(叫び)」という名で、差別に闘い声をあげる母と腕に抱かれた子を表しました。オガリ作業所も「オガリ像」にちなんで名づけられました。

移設にかかるプロジェクトに賛同いただける方を募っております。詳しくは「すみよし隣保館 寿」内の部落解放同盟大阪府連合会住吉支部(06-6674-2521)までおねがいします



毎月発行してききました「ライフサポートだより」でしたが、諸般の事情により、3・4月号を休刊させていただきました。あたらめて毎月発行ペースに戻しますので、よろしくお願ひ致します。

おわび

# ライフサポートだより

(社福)ライフサポート協会  
〒558-0054  
大阪市住吉区塚山5-10-15  
TEL 06-6676-0753  
ホーム <http://www.lifesupport.or.jp>  
メール [info@lifesupport.or.jp](mailto:info@lifesupport.or.jp)

5月24日(土)に住吉総合福祉センター2階大広間にて、法人主催の実践報告会がおこなわれました。

今回は「福祉に求められる専門性とは…」をテーマに「地域活動支援センター ころの相談ネットふうが」の実践の中で見えてきた本人支援・地域支援を皆さんに知っていただき、高齢や障がいといった分野を越えて一緒に考えていくことを目的として、実施されました。



第1部では、『排除せず、管理せず、しかし配慮する』をスローガンに活動してきた「ふうが」の実践報告をおこないました。

第2部では、実践報告を受けて北野誠一さんと新崎国広さんの対談をおこないました。対談に入る前に、北野さんからは「S・Wの価値と専門性」と題して「エンパワメント支援」や「共生」について



の講演をいただきました。新崎さんからは「各領域の専門職が人権をもち、『助け上手・助けられ上手』になる」と題して「社会福祉について」や「ポジティブリスク論」についての講演をいただきました。会場では70名程の参加者が、熱心に各発表に聞き入っておられました。以下にアンケートでの主な意見や感想を掲載します。

## 実践報告会～「福祉に求められる専門性とは…」

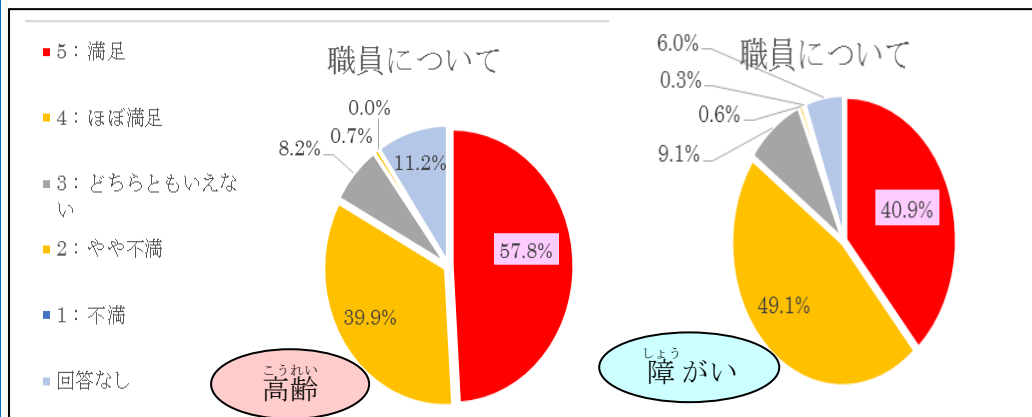
- じっせんほうこくかい ～ 「ふくしにもとめられるせんもんせいとは…」
- ふうがで、普段どんな活動をしているのか、よく分かった。(24名)
  - 法人の中で、また、ふうがという一つの事業所で共通の理念にもとづいて、事業運営をしていることが印象的でした。(11名)
  - 普段の実践が何のためにおこなわれているのか、ソーシャルワークにおけるどのような部分につながるのか、を考えながら発表されていた。
  - 「エンパワメント支援」について、新たな一面を知ることができた。(12名)
  - 「失敗する権利がある」、「ポジティブリスク論」といった考え方を知ることができた。(4名)



# 2017年度利用者アンケート結果

遅くなりましたが、2017年10～11月実施のアンケート内容についてご報告いたします。高齢事業部312名（ご本人186名・ご家族104名・不明22名）障がい事業部325名（ご本人90名・ご家族210名・不明25名）から回答がありました。ご協力ありがとうございました

## 職員へのご意見



基本的に高い評価をいただいておりますが、いくつか貴重なご指摘もいただきました。

- ・制服がないので職員が誰かわからない。また、マスクを一日中、付けている人がいますが、入所者には顔と顔を合わせた会話が必要だと思います（特養なごみ）

⇒特養の服装については、私服には入居者さんとのコミュニケーションツールにできる点もありますが、ご指摘のようなデメリットもあります。職員証や当日勤務者の表示などで改善を検討します。マスクも常用しては、コミュニケーションをしづらくさせていることにもつながるため臨機応変な対応をするようにいたします。

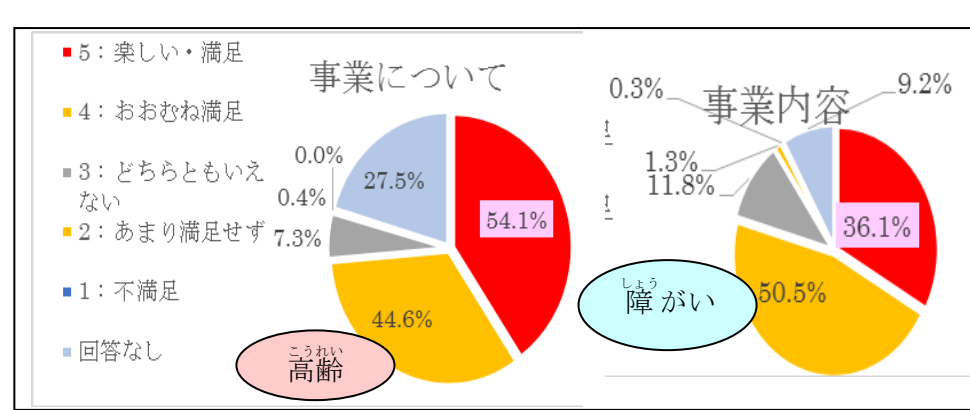
- ・爪が伸びていたり、身だしなみ。運転が少し荒いような気がします。言葉がていねい過ぎて堅苦しい感じがする時あります。（じらふデイ）

⇒送迎時の引継などについて、実際にある場面を想定した研修や運転講習会、接遇などについてロールプレイで体感できるような指導を検討しております。言葉は基本はていねいで指導しております。言い回しや表情も含めてその都度改善をはかりたいと思います。

- ・スタッフの話される言葉の中で、私だけ感じているのかも知れませんが、お一人だけ子ども（利用者）のことを話す時、「この人」という言い方をされます。他の方はみなさん「〇〇さん」と話して下さるのですが、なぜかすごく嫌な気分になります（オガリ）

⇒利用者呼称は基本「〇〇さん」で統一していますが、ご指摘のような呼び方についてはあらためるようしていきます

# 日常活動・行事などへのご意見

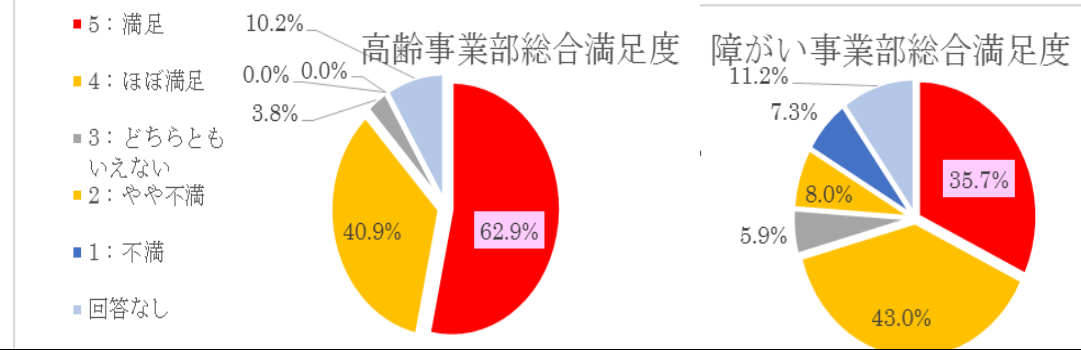


以前は高齢施設などで食事に対するご不満なども寄せられていましたが、給食での提供から、ユニットやデイルームでの自前調理の機会を増やすことでおいしくなった意見が増えました。外出行事などもおおむね好評ですが、いくつかご意見は寄せられています。

- ・スタッフさんと家族とのかかわりが少ないように思う。家族同士も会う機会がないので何か企画してほしい。日中活動の様子をスライドで見たり、作業している所を見学できるような日を設定してもらえると気軽に行きやすい。

（大領COCORO）  
⇒今年度はご家族とスタッフで懇親会を実施します。

## その他のご意見



- ・職員の入れ替わりで入居者さんと職員さんの話しが少々少なくなった様に感じました（大領地域の家であい小規模多機能）
- ・スタッフの数が少ないので大変だろうと思う。最近手薄で少し間が抜けるところがあるように感じる（であいグループホーム）

⇒職員の異動や退職は避けられない面もありますが、新年度には一定充足してきました。単に人数ではなく、ていねいな引継、研修の充実、ケース会議を通して意見交換することで、新たな視野が広がるように、人材育成していき、信頼いただけるチームづくりに取り組みます

- ・入浴の回数についての説明、本人は介助者によってバラつきがあると話していました（特養短期入所）

⇒ショート利用時は、3泊4日までは入浴1回・4泊5日以上で2回のご説明はしていますが、ご本人の希望であったり、入浴をする必要性がある方に関しては、ご相談・対応させて頂いております。

- ・宿泊企画が無くなって残念です。以前に比べると、室内イベントや外出企画が少ない（以上じらふ泉北）

⇒人員（常勤スタッフ）の入れ替わりもあり、とりくみについては内容をスリム化していたり、また宿泊企画については堺市からの指摘もあり福祉サービスとしては実施できなくなりました。今年については、BBQ外食（日帰り）を企画したり、近くでのイベントに希望者で遊びに行くなどの外出の機会を持っております。

年二回の登山企画も、体を動かすプログラムとして恒例化してきていますが、また今後行き先や内容を変えるなど検討して参ります。

- ・外出企画の申し込み電話番号がかからなかったり、プリントの番号間違いがあったりした。事務手続き（銀行引き落とし）がスムーズではないしFAXしても返事が遅いと感じる（じらふヘルパー）

⇒事務的なミスでご迷惑おかけいたしました。依頼を受ける→検討→返事を素早く行なうよう事務専任の職員の確保をしてお返しいたします

- ・防災対策や権利擁護関係に関する取組みを進めてほしい（障がいグループホーム）

⇒成年後見制度の理解を深める為、家族会で弁護士による講義を開催しました。個別懇談でも必要と思われる利用者の家族に説明を実施します。職員でも防災担当を設け、部署としての防災意識は向上していますが、より具体的な避難計画作成をしていきます